

【E部門】

誰もが安心して買い物
出来るしくみづくりへ

助成団体

NPO法人たすけ愛京築



be Orange



未払い行動 認知症になっても楽しく買い物ができるレジを考える

スローレジとは？
認知症は誰もがなり得る病気です。認知症になっても買い物をするのは楽しいことなので健忘なこと考えます。レジで支払いをする時に焦ることがあると、買い物に行きたくなくなることも考えられます。認知症がきっかけになった人がいるレジで、ゆっくり支払う事が出来るとしたらどうでしょうか？認知症当事者の視点に立った「認知症バリアフリー」の推進は認知症施策推進大綱でも推進されており、お買い物を楽しんでいく企業とのパートナーシップは進めていく中で進捗しやすいものと思います。企業と社会貢献する機会にもなり、結果高齢者や障がい者や子ども、情報をした人が驚くくらい支払いが出来ることになれば、きっかけは、認知症当事者ですが、みんなのためになることがバリアフリーではないでしょうか？

スローレジを導入してからの理由を知りました。万引きをする人が多いため、対策として考えられています。スローレジは、お店の出口近くとした人に声をかけて支払いをしてもらうための施策です。スローレジを導入されて、未払い行動の件数が減少したそうです。

スローレジから未払い行動へ

スローレジをすすめるにあたっての可能性をワークショップ

活動の様子

| 活動内容

認知症の人が行ってしまいう未払い行動についても解決策を考える機会を当事者も参加するワークショップを行いました。

認知症当事者同士が必要としている買い物コンシェルジュ養成

｜活動実施による効果

(地域への影響や認知症当事者の方の変化など)

ワークショップを行った時に、小売店の方が、自分たちは、万引きをする人をひとくくりで思っていたが、実際には認知症という病気によることがあると知りました。今後自分のところの小売店でも考えていきたいと言ってもらいました。これをきっかけに「高齢者にやさしい店」という研修を市町村で行っていくことが決まりました。

当事者も意見を伝えることで、自分たちの事を理解してくれる人がいることと気が付き買い物することを続けることを大事に思っ欲しいという事を発信することが出来ました。認知症官民連絡協議会でもチラシを配布することが出来、啓発出来ました。

| 助成金の使用実績

助成額：300,000円

印刷費（チラシ作成） . . . 30,000円

視察旅費 150,000円

会議費 30,000円

冊子作製費 50,000円

通信費 20,000円

合計 300,000円